

東京理科大学 火災科学研究所 松原研究室

松原研究室では、化学火災(容易に着火する、火災の拡大が急速である、消火が困難である等の化学物質が関与する火災)の被害を低減させる研究を行っています。

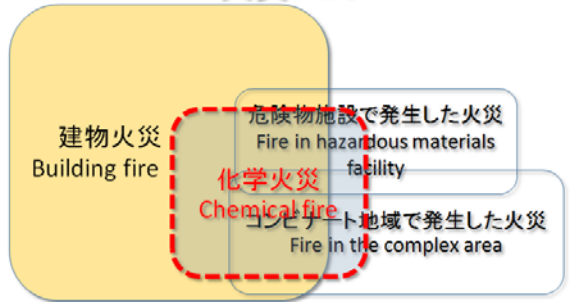
主な研究テーマ

- ◆ 爆発・燃焼などの現象理解
水面上に流出した液体可燃物の着火条件と燃焼性状など
- ◆ ICTを活用した火災被害低減
誤判断の抑制を目的とした電子マニュアル活用、群知能・集合知など
- ◆ その他の化学火災に関連するテーマ
消火剤の能力評価手法の検討、ヒューマンエラーに関する分析、着火原因としての静電気など



水面上の高引火点液体(重油)の火災拡大

火災 Fire



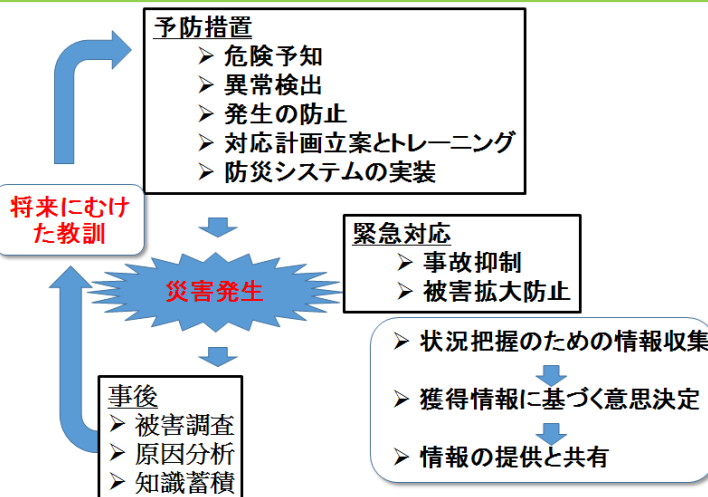
化学火災＝容易に着火する、火災の拡大が急速である、消火が困難である等の化学物質が関与する火災

「天津港“8・12”瑞海公司危険品仓库 特別重大火災爆炸事故調査報告の構成」

【全107ページ、約600文字/頁、30字×22行】

章 節	ページ
前文	1-3p
一、事故基本情况	3-13p
二、事故直接原因	13-18p
(一)最初起火部位認定【出火場所判定】	13p
(二)起火原因分析認定【着火原因分析判定】	13-16p
(三)爆発過程分析【爆発過程解析】	17-18p
最終認定事故直接原因是	18p
三、事故应急救援处置情况【应急救援处置の状況】	18-23p
四、事故企业相关情况及主要问题【事故企業の状況と主要な問題】	23-32p
五、有关地方政府及部门和中介机构存在的主要问题【地方政府、関係部署、中間機関に関する主要な問題】	32-51p
六、对事故有关责任人员和责任单位的处理意见【関係する組織、責任ある人の処分についての意見】	51-90p
七、事故主要教训【事故の主要な教訓】	90-93p
八、事故防范措施和建议【事故防止対策と提案】	93-98p
九、資料	99-107p

天津港爆発事故(2015年8月12日)調査報告書の分析



時間の流れに沿って整理した災害軽減措置
-各ステージでICTが活用可能-



松原美之(まつばら よしゆき)
神楽坂12号館 (03-5228-7338)

E-mail: matsubaray@rs.tus.ac.jp

専門分野:安全工学・静電気工学・化学火災